



2019年度（2020年3月期）
第3四半期決算

参考資料

2020年1月31日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<https://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

製品の安全性および品質に関するリスク、副作用発現のリスク、訴訟に関するリスク、法規制に関するリスク、知的財産に関するリスク、新薬開発の不確実性に関するリスク、医療費抑制策に関するリスク、ジェネリック医薬品に関するリスク、海外展開におけるリスク、他社とのパートナーシップに関するリスク、企業買収や製品買収等に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、財務報告に係る内部統制の整備等に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止のリスク、環境に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2018年度 第3四半期	期中平均レート	111.14	129.49	146.34	16.60
	期末日レート	111.00	127.00	140.46	16.16
2018年度 通期	期中平均レート	110.90	128.40	145.67	16.53
	期末日レート	110.99	124.56	144.98	16.47
2019年度 第3四半期	期中平均レート	108.67	121.05	137.78	15.60
	期末日レート	109.56	122.54	143.48	15.67
2019年度	第4四半期予想レート	105.00	117.00	130.00	14.60

- ・ 前回発表した通期の業績予想を修正しています。修正箇所には下線を付しています。
- ・ 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- ・ 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）、アジア・ラテンアメリカ（韓国、台湾、香港、インド、アセアン、中南米等）、一般用医薬品等（日本）の6つの事業セグメントを報告セグメントとしています。当連結会計年度において、日本医薬品事業から一般用医薬品等事業を分離し、新たな報告セグメントとしています。前年同期のセグメント情報は当該変更を反映しています。
- ・ 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2018年度				2019年度				2019年度 通期予想	
	3Q累計	売上比	通期	売上比	3Q累計	売上比	前同比	増減額	今回修正	前回発表
売上収益	4,673	100.0	6,428	100.0	4,861	100.0	104.0	188	6,800	6,800
売上原価	1,417	30.3	1,845	28.7	1,272	26.2	89.7	△ 146	1,700	1,700
売上総利益	3,255	69.7	4,583	71.3	3,589	73.8	110.2	334	5,100	5,100
販売費及び一般管理費	1,681	36.0	2,282	35.5	1,884	38.8	112.1	203	2,560	2,560
販売費	612	13.1	843	13.1	798	16.4	130.4	186	—	—
人件費	671	14.4	872	13.6	661	13.6	98.5	△ 10	—	—
管理費他	398	8.5	567	8.8	425	8.7	106.8	27	—	—
研究開発費	1,015	21.7	1,448	22.5	1,030	21.2	101.5	15	1,480	1,480
その他の収益	24	0.5	26	0.4	64	1.3	264.6	40	40	40
その他の費用	11	0.2	17	0.3	4	0.1	36.6	△ 7	—	—
営業利益	571	12.2	862	13.4	733	15.1	128.4	162	1,100	1,100
金融収益	37	0.8	49	0.8	34	0.7	91.7	△ 3	—	—
金融費用	13	0.3	16	0.2	9	0.2	68.0	△ 4	—	—
税引前四半期（当期）利益	595	12.7	895	13.9	758	15.6	127.5	163	1,120	1,120
法人所得税	157	3.4	230	3.6	19	0.4	12.3	△ 138	—	—
四半期（当期）利益	437	9.4	665	10.3	739	15.2	168.9	301	<u>1,020</u>	820
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	400	8.6	634	9.9	733	15.1	183.2	333	<u>1,016</u>	816
非支配持分	38	0.8	31	0.5	6	0.1	16.8	△ 31	—	—

四半期（当期）包括利益	520	11.1	795	12.4	628	12.9	120.8	108
-------------	-----	------	-----	------	-----	------	-------	-----

EPS（円）	139.6	221.3	255.7	<u>354.6</u>	284.8
DPS（円）	—	150.0	—	160.0	160.0
ROE（%）	—	10.4	—	<u>15.6</u>	13.2
DOE（%）	—	7.0	—	<u>7.0</u>	7.4

・通期予想の修正箇所には下線を付しています。

・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

・EPS：基本的1株当たり当期利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

<コメント>

<p>■売上収益</p> <p>■販売費及び一般管理費</p> <p>■研究開発費</p> <p>■その他の収益</p> <p>■法人所得税</p> <p>■為替による影響額</p> <p>■為替感応度 (1円の円高に対しての年間影響額)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・抗がん剤「レンビマ」が引き続き大幅に伸長（当期 805億円、前年同期 433億円） ・米メルク社からの「レンビマ」に関するマイルストーンペイメントを計上（当期 164億円、前年同期 250億円） ・米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益（当期 362億円、前年同期 162億円）を費用計上 ・次世代アルツハイマー病疾患修飾剤「BAN2401」および「レンビマ」を中心に積極的な資源投入 ・パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制（自社主要品に関するパートナー負担額：当期 487億円、前年同期 316億円） ・エルメッド エーザイの譲渡益 44億円 ・米国法人税に対する会計上の引当金を戻入したことに加え、当社グループにおける日米間の資金偏在を解消するために米国連結子会社から当社へ払込資本の払戻しを行った結果として当社に生じた法人所得税の減少等を反映 ・売上収益：△109.8億円、営業利益：△32.7億円 ・売上収益：米ドル △15.5億円、ユーロ △3.1億円、英ポンド △0.5億円、人民元 △56.1億円 営業利益：米ドル +2.7億円、ユーロ △2.0億円、英ポンド+0.9億円、人民元 △36.2億円
---	--

2. セグメント情報

1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2018年度		2019年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	4,329	5,637	4,453	102.9	105.2
日本 医薬品事業	2,199	2,768	1,932	87.8	87.8
アメリカス 医薬品事業	688	979	920	133.6	136.7
米国	679	967	910	134.0	137.1
中国 医薬品事業	498	663	656	131.6	140.0
EMEA 医薬品事業	376	498	392	104.3	110.9
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	374	487	353	94.5	98.5
一般用医薬品等	193	243	200	103.5	103.5
その他事業	344	791	408	118.7	120.7
連結売上収益	4,673	6,428	4,861	104.0	106.4

* 外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2018年度		2019年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,663	2,105	1,923	115.6	118.8
日本 医薬品事業	846	1,002	765	90.4	90.4
アメリカス 医薬品事業	296	463	498	168.1	172.3
中国 医薬品事業	190	244	311	163.4	177.8
EMEA 医薬品事業	155	197	176	113.5	117.7
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	129	153	129	99.8	104.3
一般用医薬品等	46	45	43	95.3	95.3
その他事業	278	708	331	118.8	120.5
研究開発費	△1,015	△1,448	△1,030	101.5	103.9
親会社の本社管理費等*	△355	△504	△533	150.4	150.3
子会社売却益	—	—	44	—	—
連結営業利益	571	862	733	128.4	134.1

* パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を含めています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	2,199	2,768	1,932	87.8
医療用医薬品	2,012	2,516	1,932	96.0
ジェネリック医薬品	188	252	—	—
セグメント利益	846	1,002	765	90.4
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	372	469	393	105.7
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	216	283	221	101.9
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	120	150	111	92.3
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	148	179	110	74.3
抗がん剤 レンビマ	74	100	102	137.9
不眠症治療剤 ルネスタ	88	112	98	111.7
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	103	129	85	82.3
抗がん剤 ハラヴェン	75	94	73	97.2
抗がん剤 トリアキシシ	58	72	61	105.4
成分栄養剤 エレンタール*	50	64	50	99.6
抗リウマチ剤 ケアラム	33	44	49	148.0
抗てんかん剤 フィコンパ	23	30	30	132.4

- ・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。
- ・2019年4月にジェネリック医薬品事業（エルメッド エーザイ）を譲渡しました。2018年度のジェネリック医薬品はエルメッド エーザイの売上収益です。
- * EAファーマの取り扱い製品です。

3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	498	663	656	131.6 <140.0>
セグメント利益	190	244	311	163.4 <177.8>
中国 主力品売上収益				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	152 (917)	200 (1,208)	179 (1,144)	117.4 <124.9>
抗がん剤 レンビマ (百万人民元)	17 (100)	31 (189)	107 (686)	645.4 <686.8>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	71 (430)	93 (565)	86 (552)	120.6 <128.3>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン錠 (百万人民元)	82 (491)	107 (649)	80 (515)	98.7 <105.0>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	43 (259)	57 (348)	47 (302)	109.9 <116.9>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、オセアニア)

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	376	498	392	104.3 <110.9>
セグメント利益	155	197	176	113.5 <117.7>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 ハラヴェン	94	127	104	111.1 <117.5>
抗がん剤 レンビマ/Kispalyx	57	80	90	156.8 <167.0>
抗てんかん剤 Fycompa	45	61	52	114.3 <122.0>
抗てんかん剤 Zebinix	43	58	47	109.0 <116.7>
抗てんかん剤 ソネグラン	31	41	29	94.4 <100.9>
抗てんかん剤 イノベロン	18	24	18	98.9 <105.6>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	374	487	353	94.5 <98.5>
セグメント利益	129	153	129	99.8 <104.3>
アジア・ラテンアメリカ 主力品売上収益				
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	91	118	82	90.0 <95.3>
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	99	130	75	76.0 <81.9>
抗がん剤 レンビマ	32	40	35	108.9 <112.8>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	30	39	31	104.8 <107.0>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	25	32	22	89.4 <90.2>
抗がん剤 ハラヴェン	20	27	15	74.2 <76.4>
抗てんかん剤 Fycompa	7	9	8	121.6 <127.0>

- ・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

6) 一般用医薬品等

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	193	243	200	103.5
セグメント利益	46	45	43	95.3
一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	124	153	128	102.8

4. 主力品売上収益

1) ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
ニューロロジー領域製品計	1,366	1,774	1,448	106.0 <109.0>
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	305	393	317	104.0 <107.8>
日本	120	150	111	92.3
中国	152	200	179	117.4 <124.9>
アジア・ラテンアメリカ	25	32	22	89.4 <90.2>
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	320	402	283	88.7 <92.0>
日本	148	179	110	74.3
中国	71	93	86	120.6 <128.3>
アジア・ラテンアメリカ	91	118	82	90.0 <95.3>
リリカ (疼痛治療剤 (神経障害性疼痛・線維筋痛症)) ・日本	216	283	221	101.9
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	154	204	192	125.3 <128.6>
アメリカス	131	175	170	129.4 <132.4>
EMEA	18	24	18	98.9 <105.6>
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	143	193	187	130.6 <134.9>
日本	23	30	30	132.4
アメリカス	69	93	98	141.5 <144.8>
EMEA	45	61	52	114.3 <122.0>
アジア・ラテンアメリカ	7	9	8	121.6 <127.0>
ルネスタ (不眠症治療剤) ・日本	88	112	98	111.7
Zebinix (抗てんかん剤) ・EMEA	43	58	47	109.0 <116.7>
Belvia (肥満症治療剤)	40	56	46	113.8 <115.9>
米国	30	39	31	104.2 <106.6>
ソネグラン (抗てんかん剤)	35	46	33	94.4 <100.6>
EMEA	31	41	29	94.4 <100.9>
その他	21	27	23	105.5 <107.3>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
オンコロジー領域製品計	886	1,209	1,220	137.7 <141.8>
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	433	626	805	185.8 <191.5>
日本	74	100	102	137.9
アメリカス	253	375	471	186.0 <190.2>
中国	17	31	107	645.4 <686.8>
EMEA	57	80	90	156.8 <167.0>
アジア・ラテンアメリカ	32	40	35	108.9 <112.8>
ハラヴェン (抗がん剤)	313	413	306	97.6 <100.5>
日本	75	94	73	97.2
アメリカス	124	164	112	90.2 <92.3>
EMEA	94	127	104	111.1 <117.5>
アジア・ラテンアメリカ	20	27	15	74.2 <76.4>
トリアキシン/シンベンダ (抗がん剤)	61	75	64	105.4 <105.7>
その他	79	96	46	57.7 <60.7>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し（2019年度）

（億円）

	2018年度		2019年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	通期予想
日本	2,199	2,768	1,932	2,480
医療用医薬品	2,012	2,516	1,932	2,480
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	372	469	393	490
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	148	179	110	140
抗がん剤 レンビマ	74	100	102	130
不眠症治療剤 ルネスタ	88	112	98	130
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	120	150	111	130
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	103	129	85	110
抗がん剤 ハラヴェン	75	94	73	100
抗がん剤 トリアキシン	58	72	61	82
抗リウマチ剤 ケアラム	33	44	49	70
成分栄養剤 エレンタール*	50	64	50	65
ジェネリック医薬品	188	252	-	-
アメリカス	688	979	920	1,350
米国	679	967	910	1,320
中国	498	663	656	700
EMEA	376	498	392	510
アジア・ラテンアメリカ	374	487	353	490
一般用医薬品等	193	243	200	240
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	124	153	128	160
その他	344	791	408	1,030
連結売上収益	4,673	6,428	4,861	6,800
主要品目グローバル売上収益				
レンビマ/Kispilyx	433	626	805	1,190
日本	74	100	102	130
アメリカス	253	375	471	780
中国	17	31	107	120
EMEA	57	80	90	120
アジア・ラテンアメリカ	32	40	35	40
ハラヴェン	313	413	306	430
日本	75	94	73	100
アメリカス	124	164	112	170
EMEA	94	127	104	130
アジア・ラテンアメリカ	20	27	15	30
フィコンパ/Fycompa	143	193	187	250
日本	23	30	30	50
アメリカス	69	93	98	120
EMEA	45	61	52	70
アジア・ラテンアメリカ	7	9	8	10
Belviaq	40	56	46	50
アメリカス	30	39	31	50
アリセプト	320	402	283	350
パリエット/アシフェックス	215	277	195	240

・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

・2019年4月にジェネリック医薬品事業（エルメッド エーザイ）を譲渡しました。2018年度のジェネリック医薬品はエルメッド エーザイの売上収益です。

* EAファーマの取り扱い製品です。

6. 連結包括利益計算書

	2018年度		2019年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	増減額
四半期（当期）利益	437	665	739	168.9	301
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	4	34	△ 41	—	△ 45
確定給付制度に係る再測定	—	△ 8	—	—	—
小計	4	26	△ 41	—	△ 45
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	78	104	△ 72	—	△ 150
キャッシュ・フロー・ヘッジ	0	0	2	562.4	1
小計	78	104	△ 70	—	△ 148
その他の包括利益合計	82	130	△ 111	—	△ 193
四半期（当期）包括利益	520	795	628	120.8	108
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	482	764	622	128.9	140
非支配持分	38	31	6	17.0	△ 31

(億円、%)

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2018年度 3Q累計	2019年度	
		3Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	595	758	163
減価償却費及び償却費	201	251	50
減損損失	45	1	△ 43
運転資本の増減額（△は増加）	△ 62	△ 535	△ 473
利息及び配当金の受取額	35	35	0
利息の支払額	△ 13	△ 8	5
法人所得税の支払額	△ 156	△ 172	△ 17
法人所得税の還付額	14	—	△ 14
その他	△ 55	△ 40	16
営業活動によるキャッシュ・フロー	605	292	△ 313
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 71	△ 97	△ 26
有形固定資産の売却による収入	7	10	3
無形資産の取得による支出	△ 75	△ 281	△ 206
子会社株式売却に係る前受金の受領額	57	—	△ 57
子会社の売却による収入	—	58	58
金融資産の取得による支出	△ 0	△ 13	△ 12
金融資産の売却・償還による収入	8	8	0
小計<資本的支出等（キャッシュベース）>	△ 75	△ 314	△ 239
3カ月超預金の預入による支出	△ 34	△ 1	33
3カ月超預金の払戻による収入	142	50	△ 92
その他	△ 2	0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	30	△ 265	△ 295
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	△ 114	150	264
長期借入れによる収入	50	—	△ 50
長期借入金の返済による支出	△ 383	△ 400	△ 17
リース負債の返済による支出	△ 7	△ 67	△ 60
配当金の支払額	△ 430	△ 458	△ 29
その他	3	0	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 881	△ 776	106
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△ 46	△ 73
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 219	△ 794	△ 575
現金及び現金同等物の期首残高	2,705	2,919	214
現金及び現金同等物の期末残高	2,486	2,125	△ 361

フリー・キャッシュ・フロー	529	△ 22	△ 551
---------------	-----	------	-------

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
税引前四半期利益が増加した一方で、売上収益の増加に伴う売掛金の増加や預り金（米メルク社からの研究開発償還金）の取崩しなどにより運転資本が増加
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
子会社の売却による収入が発生した一方で、無形資産の取得などにより、資本的支出等が増加
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入金の返済を実施

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2018年度		2019年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	増減額	通期予想
資本的支出額（キャッシュベース）	146	276	378	232	580
有形固定資産	71	182	97	26	180
無形資産	75	95	281	206	400
減価償却費及び償却費	201	268	251	50	340
有形固定資産	82	109	132	50	180
無形資産	119	159	119	0	160

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2018年度		2019年度			
	3月末	構成比	12月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,052	9.8	1,391	13.2	132.2	339
のれん	1,722	16.1	1,699	16.2	98.7	△ 23
無形資産	981	9.2	1,179	11.2	120.2	198
その他の金融資産	530	4.9	476	4.5	89.8	△ 54
その他	127	1.2	119	1.1	93.7	△ 8
繰延税金資産	686	6.4	648	6.2	94.5	△ 38
非流動資産合計	5,098	47.6	5,512	52.4	108.1	414
流動資産						
棚卸資産	679	6.3	664	6.3	97.9	△ 15
営業債権及びその他の債権	1,566	14.6	1,967	18.7	125.6	400
その他の金融資産	75	0.7	25	0.2	32.5	△ 51
その他	168	1.6	188	1.8	112.1	20
現金及び現金同等物	2,864	26.7	2,125	20.2	74.2	△ 739
小計	5,353	50.0	4,969	47.3	92.8	△ 384
売却目的で保有する資産	264	2.5	32	0.3	12.2	△ 232
流動資産合計	5,617	52.4	5,001	47.6	89.0	△ 615
資産合計	10,715	100.0	10,514	100.0	98.1	△ 201

<コメント>

■ 資産の部	
(有形固定資産)	IFRS第16号「リース」の適用によるリース負債の認識に伴い、使用权資産が増加
(無形資産)	オレキシン受容体拮抗剤 レンボレキサントに関するパートナーの権利を取得
(営業債権及びその他の債権)	主に売上収益の増加に伴う売掛金の増加
(現金及び現金同等物)	長期借入金の返済、無形資産の取得による支出、営業債務及びその他の債務の支払いなどに伴う減少
(売却目的で保有する資産)	エルメッド エーザイ譲渡による減少

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2018年度		2019年度			
	3月末	構成比	12月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.2	450	4.3	100.0	—
資本剰余金	776	7.2	776	7.4	100.0	0
自己株式	△ 347	△ 3.2	△ 346	△ 3.3	99.7	1
利益剰余金	4,385	40.9	4,618	43.9	105.3	233
その他の資本の構成要素	1,017	9.5	947	9.0	93.1	△ 70
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,281	58.6	6,446	61.3	102.6	165
非支配持分	239	2.2	244	2.3	102.4	6
資本合計	6,520	60.8	6,690	63.6	102.6	170
負債						
非流動負債						
借入金	899	8.4	549	5.2	61.1	△ 350
その他の金融負債	45	0.4	363	3.5	808.1	318
引当金	13	0.1	14	0.1	104.0	1
その他	278	2.6	138	1.3	49.6	△ 140
繰延税金負債	3	0.0	2	0.0	85.7	△ 0
非流動負債合計	1,238	11.6	1,067	10.1	86.2	△ 171
流動負債						
借入金	490	4.6	590	5.6	120.4	100
営業債務及びその他の債務	775	7.2	603	5.7	77.8	△ 172
その他の金融負債	416	3.9	352	3.3	84.5	△ 64
未払法人所得税	82	0.8	38	0.4	46.2	△ 44
引当金	179	1.7	197	1.9	109.8	18
その他	911	8.5	978	9.3	107.4	67
小計	2,853	26.6	2,757	26.2	96.6	△ 96
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	104	1.0	—	—	—	△ 104
流動負債合計	2,957	27.6	2,757	26.2	93.2	△ 200
負債合計	4,195	39.2	3,824	36.4	91.1	△ 372
資本及び負債合計	10,715	100.0	10,514	100.0	98.1	△ 201

<コメント>

■資本の部 (利益剰余金)	支払配当金を大幅に上回る四半期利益を計上
■負債の部 (借入金—非流動) (その他の金融負債—非流動) (営業債務及びその他の債務) (売却目的で保有する資産に直接関連する負債)	長期借入金の返済の実施 IFRS第16号「リース」の適用により、リース負債が増加 主に未払金の減少 エルメッド エーザイ譲渡による減少

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2018年度				2019年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上収益	1,533	1,568	1,571	1,756	1,540	1,453	1,868
売上原価	480	440	497	428	429	403	440
売上総利益	1,053	1,128	1,074	1,328	1,111	1,050	1,428
販売費及び一般管理費	506	542	634	601	600	605	680
販売費	173	197	242	231	247	258	294
人件費	199	212	260	200	211	208	242
管理費他	134	133	131	169	142	139	144
研究開発費	341	309	365	433	294	386	350
その他の収益	1	9	14	2	48	6	10
その他の費用	1	9	2	6	7	2	△5
営業利益	206	278	87	290	258	62	413
金融収益	12	11	14	12	14	9	11
金融費用	5	5	3	2	3	3	3
税引前四半期利益	213	284	98	300	270	68	421
法人所得税	56	77	24	72	49	15	△45
四半期利益	157	206	74	227	221	53	465
四半期利益の帰属							
親会社所有者	123	203	73	234	217	53	463
非支配持分	34	3	1	△7	4	△1	3
四半期包括利益	272	341	△94	275	31	16	581
EPS (円)	43.0	71.1	25.6	81.7	75.6	18.6	161.5

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2018年度				2019年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	123	376	106	432	△41	125	208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16	△28	75	△110	△201	△35	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54	△291	△536	90	△342	△163	△271
現金及び現金同等物の期末残高	2,797	2,918	2,486	2,919	2,255	2,154	2,125
フリー・キャッシュ・フロー	107	347	75	321	△245	86	138

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2018年度				2019年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
資本的支出額（キャッシュベース）	55	31	60	130	265	45	68
有形固定資産	29	18	25	110	45	26	26
無形資産	27	13	35	20	220	19	42
減価償却費及び償却費	69	68	64	67	83	82	86
有形固定資産	29	28	24	27	44	43	45
無形資産	40	40	40	40	39	39	41

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2018年度				2019年度		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
資産	10,666	10,802	10,260	10,715	10,262	10,102	10,514
資本	6,194	6,537	6,243	6,520	6,321	6,338	6,690
親会社の所有者に帰属する持分	5,952	6,291	5,997	6,281	6,078	6,097	6,446
負債	4,472	4,265	4,017	4,195	3,941	3,763	3,824
借入金	1,920	1,639	1,299	1,389	1,299	1,154	1,139
親会社所有者帰属持分比率 (%)	55.8	58.2	58.5	58.6	59.2	60.4	61.3
負債比率 (Net DER/倍)	△0.25	△0.31	△0.28	△0.32	△0.24	△0.24	△0.22

・負債比率 (Net DER) = (有利子負債 (借入金) - 現金及び現金同等物 - 3カ月超預金等 - 親会社保有投資有価証券) ÷ 親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2018年度				2019年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
ニューロロジー領域製品計	453	436	477	408	503	457	488
メチコパール（末梢性神経障害治療剤）	107	99	99	88	111	106	100
日本	41	37	42	30	38	35	37
中国	55	49	48	48	64	61	54
アジア・ラテンアメリカ	9	10	7	7	7	8	8
アリセプト（アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤）	111	103	107	82	100	92	92
日本	53	44	50	32	41	33	35
中国	23	26	23	22	28	31	27
アジア・ラテンアメリカ	31	30	31	27	29	26	27
リリカ（疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症））・日本	71	67	78	67	71	68	82
イノベロン/Banzel（抗てんかん剤）	48	51	55	50	76	54	63
アメリカス	40	44	46	43	68	47	55
EMEA	6	6	7	6	6	6	6
フィコンパ/Fycompa（抗てんかん剤）	45	47	51	49	60	59	69
日本	7	7	9	7	10	10	11
アメリカス	21	23	24	24	30	30	38
EMEA	15	14	16	16	17	16	18
アジア・ラテンアメリカ	2	2	2	2	3	3	3
ルネスタ（不眠症治療剤）・日本	29	27	33	24	33	31	35
Zebinix（抗てんかん剤）・EMEA	14	14	16	14	16	15	16
Belvia（肥満症治療剤）	10	11	20	16	18	14	14
米国	10	9	10	10	11	9	11
ソネグラン（抗てんかん剤）	12	11	12	12	12	11	10
EMEA	10	10	11	10	10	10	9
その他	8	7	7	5	7	7	8

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2018年度				2019年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
オンコロジー領域製品計	281	266	339	323	396	390	434
レンビマ/Kisplyx（抗がん剤）	119	126	189	192	248	258	300
日本	19	24	31	25	34	35	33
アメリカス	69	75	109	122	138	145	188
中国	—	—	17	15	35	36	36
EMEA	19	18	20	23	30	28	32
アジア・ラテンアメリカ	11	9	12	8	10	13	12
ハラヴェン（抗がん剤）	102	102	109	100	109	97	99
日本	25	24	26	19	26	25	23
アメリカス	40	41	43	40	37	39	37
EMEA	30	31	33	33	39	32	33
アジア・ラテンアメリカ	7	6	7	8	8	2	5
トリアキシン/シンベンダ（抗がん剤）	20	18	22	15	21	22	21
その他	40	20	19	16	18	13	14

11. 主要開発品

(1) 神経

開発品コード：**E2007** 一般名：**ペランパネル** 製品名：**フィコンパ/Fycompa**

薬効／作用機序：抗てんかん剤／AMPA受容体拮抗剤	自社品		
<p>[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、米国、欧州、中国、アジアなど、65カ国以上で承認を取得しています。また、日本と米国では、4歳以上のてんかん患者様の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する単剤療法および併用療法での承認を取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、米国、欧州、アジアなど、60カ国以上で承認を取得しています。米国、欧州では、経口懸濁液の承認を取得しています。日本では、細粒剤の承認を取得しています。</p>			
部分てんかん併用療法	335試験	○ 中国 承認（2019年9月）	経口剤
てんかん小児適応（用法用量追加）	311試験	◎ 日本 承認（2020年1月） 欧州 申請（2019年2月）	経口剤
部分てんかん単剤療法（効能効果追加）	342試験	◎ 日本 承認（2020年1月）	経口剤
細粒剤（剤形追加）	—	◎ 日本 承認（2020年1月）	経口剤
レノックス・ガストー症候群（効能効果追加）	338試験	日米欧 PⅢ	経口剤

開発品コード：**ME2125** 一般名：**サフィナミド** 製品名：**エクフィナ**

薬効／作用機序：パーキンソン病治療剤／モノアミン酸化酵素B阻害剤	導入品（Meiji Seikaファルマ）		
<p>[概要] 選択的なモノアミン酸化酵素B（MAO-B）阻害作用により、分泌されたドパミンの分解を抑制してドパミンの脳内濃度維持を助けます。Meiji Seikaファルマが日本における製造販売承認を保有し、当社は日本における独占的販売権と、アジアにおける独占的開発・販売権を保有します。</p>			
パーキンソン病におけるwearing off現象の改善	—	○ 日本 承認（2019年9月） — ○ 韓国 申請（2019年7月）	経口剤

開発品コード：**E2006** 一般名：**レンボレキサント** 製品名：**デエビゴ/Dayvigo**

薬効／作用機序：オレキシン受容体拮抗剤	自社品		
<p>[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。米国において、入眠困難、睡眠維持困難のいずれかまたはその両方を伴う成人の不眠症の適応で新薬承認を取得しています。日本において、不眠症の適応で新薬承認を取得しています。</p>			
不眠障害	303/304試験	◎ 米国 承認（2019年12月） ◎ 日本 承認（2020年1月）	経口剤
アルツハイマー病／認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害	202試験	日米 PⅡ	経口剤

開発品コード：**B11B037** 一般名：**アデユカヌマブ**

薬効／作用機序：アルツハイマー病疾患修飾剤／抗Aβ抗体	導入品（Biogen Inc.）		
<p>[概要] アデユカヌマブは、リバース・トランスレーショナル・メディシン（RTM）と呼ばれるNeurimmune社のテクノロジー・プラットフォームを用いて作成されたヒト遺伝子組換えモノクローナル抗体（mAb）であり、認知障害の兆候のない健康な高齢者、または進行が異常に遅い認知機能障害のある高齢者から採取した、非特定化B細胞ライブラリーに由来します。Biogen Inc.は、Neurimmune社よりアデユカヌマブを導入しました。アデユカヌマブは、可溶性オリゴマーと不溶性線維などが凝集してアミロイドプラークを形成しうる形態のアミロイドβ（Aβ）を標的のすると考えられています。無益性（Futility）解析の結果により2019年3月に試験が中止されたフェーズⅢ試験に関して、米国食品医薬品局（FDA）との協議のもと、Biogen Inc.は大規模データセットを用いて新たな解析を実施しました。その解析結果を受け、2019年10月、当社とBiogen Inc.は新薬承認をめざすことを発表しました。</p>			
早期アルツハイマー病	ENGAGE/EMERGE試験	◎ 米国 申請準備中	Biogen Inc.と共同開発 注射剤

○：2019年4月以降の進捗、◎：2019年10月以降の進捗

開発品コード：BAN2401

薬効／作用機序：アルツハイマー病疾患修飾剤／抗Aβプロトフィブリル抗体		導入品（BioArctic AB）		
[概要] アミロイドβ（Aβ）プロトフィブリルに対するIgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているAβプロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病の進行を抑制することを期待しています。				
早期アルツハイマー病	301試験（Clarity AD）	日米欧中	PⅢ	Biogen Inc.と共同開発 注射剤

開発品コード：E2027

薬効／作用機序：レビー小体型認知症治療剤／PDE9阻害剤		自社品		
[概要] 選択的なホスホジエステラーゼ（PDE）9阻害作用により、細胞内のシグナル伝達に重要なサイクリックGMP（cGMP）の分解を抑制し、cGMPの脳内濃度を維持することにより、レビー小体型認知症に対する新たな治療薬になることを期待しています。				
レビー小体型認知症	201試験（DELPHIA）	日米欧	PⅡ/Ⅲ	経口剤

開発品コード：E2730

薬効／作用機序：抗てんかん剤・神経疾患治療剤／シナプス機能モジュレーター		自社品		
[概要] 活性化状態にあるシナプス機能を選択的に調整する新規作用機序を持つ化合物です。希少てんかんを含むてんかんや、てんかん原性等に対する新たな神経疾患治療薬になることを期待しています。				
てんかん	201試験	米国	PⅡ	経口剤

開発品コード：E2814

		共同創出品（ロンドン大学）		
アルツハイマー病	—	◎	米国	PⅠ 注射剤

○ エレンベセスタットについて、独立安全性データモニタリング委員会の勧告に基づき、早期アルツハイマー病を対象としたフェーズⅢ試験を中止したため、本表から削除しました。

○ E2082について、全ての臨床試験（日本、米国）を中断し、開発プログラムの終結に向けて手続きを進めています。

(2) がん

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ 製品名：レンビマ/Kisplyx

薬効／作用機序：抗がん剤／キナーゼ阻害剤		自社品			
<p>[概要] 血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) や線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) に加え、血小板由来増殖因子受容体 (PDGFR)、KIT、RETなどの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼ (RTK) に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなど60カ国以上で承認を取得しています。また腎細胞がん (セカンドライン) のエベロリムスとの併用療法に係る適応で、米国、欧州など50カ国以上で承認を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応については、製品名Kisplyxを使用しています。さらに、肝細胞がん (ファーストライン) に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなど55カ国以上において承認を取得しています。また、2019年9月、ペムプロリスマブとの併用療法について、子宮内膜がんに係る適応で米国、オーストラリア、カナダで承認を取得しました。</p>					
進行性子宮内膜がん (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	111試験	○	米国 承認 (2019年9月)	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A. (米メルク社)と共同開発	経口剤
甲状腺がん (効能効果追加)	303/308 試験	◎	中国 申請 (2019年11月 受理)	米メルク社と共同開発	経口剤
子宮内膜がん・セカンドライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	309試験		日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
腎細胞がん・ファーストライン (効能効果追加) (抗がん剤エベロリムスまたは抗PD-1抗体ペムプロ リスマブとの併用療法)	307試験		日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
肝細胞がん・ファーストライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-002 試験		日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
メラノーマ・ファーストライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-003 試験		米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
非扁平上皮非小細胞肺がん・ファーストライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-006 試験		日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
PD-L1陽性の非小細胞肺がん・ファーストライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-007 試験		日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
子宮内膜がん・ファーストライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-001 試験	○	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
非小細胞肺がん・セカンドライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-008 試験	○	日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
膀胱がん (シスプラチン不適格)・ファーストライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-011 試験	○	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
頭頸部がん・ファーストライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-010 試験	◎	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤
固形がん (効能効果追加) (子宮内膜がん、腎細胞が ん、頭頸部がん、尿路上皮がん、非小細胞肺がん、メ ラノーマ) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	111試験 —		米欧 PⅠ/Ⅱ 日本 PⅠ	米メルク社と共同開発	経口剤
メラノーマ・セカンドライン (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-004 試験		米欧 PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤
固形がん (効能効果追加) (トリプルネガティブ乳が ん、卵巣がん、胃がん、大腸がん、膠芽腫、胆道が ん) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-005 試験		米欧 PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤
肝細胞がん (効能効果追加) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	—		日米 PⅠ	米メルク社と共同開発	経口剤
肝細胞がん (効能効果追加) (抗PD-1抗体ニボルマブとの併用療法)	—		日本 PⅠ	小野薬品と共同開発	経口剤

◎ 日本、米国、欧州、アジアでフェーズⅡ段階にありました非小細胞肺がん (RET 転座、単剤療法) および日本でフェーズⅡ段階にありました胆道がん (単剤療法) を対象とした開発は、ペムプロリスマブとの併用療法の開発を優先し終了したため、本表から削除しました。

○：2019年4月以降の進捗、◎：2019年10月以降の進捗

開発品コード：**E7389** 一般名：**エリブリン** 製品名：**ハラヴェン**

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤					自社品
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなど、70カ国以上で乳がんに係る承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなど、65カ国以上において脂肪肉腫（日本では悪性軟部腫瘍）に係る適応追加の承認を取得しています。					
局所進行性または転移性乳がん	304試験	○	中国	承認（2019年7月）	注射剤
膀胱がん（効能効果追加）	702試験		米欧	PI/II	注射剤
トリプルネガティブ乳がん （抗PD-1抗体ペムブロリスマブとの併用療法）	218試験		米国	PI/II	米メルク社と共同開発 注射剤
HER2陰性乳がん（PEGPH20との併用療法）	219試験		米国	PI/II	Halozymeと共同開発 注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）	—		日欧	PI	注射剤
リボソーム製剤（剤形追加） （抗PD-1抗体ニボルマブとの併用療法）	—	○	日本	PI/II	小野薬品との共同開発 注射剤

開発品コード：**MORAb-003** 一般名：**ファルレツズマブ**

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体αモノクローナル抗体					自社品
[概要] 葉酸受容体α（FRA）に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。					
プラチナ感受性卵巣がん	011試験		日米欧	PII	注射剤

開発品コード：**MORAb-004**

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体					自社品
[概要] Tumor endothelial marker 1（TEM-1）／エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。					
メラノーマ	201試験		米欧	PII	注射剤

開発品コード：**MORAb-009** 一般名：**amatuximab**

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体					自社品
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。					
中皮腫	003/201試験		米欧	PII	注射剤

開発品コード：**E7777**

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤					自社品
[概要] インターロイキン2（IL-2）の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。					
末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫	205試験		日本	PII	注射剤

開発品コード：**E7438** 一般名：**タゼメトスタット**

薬効／作用機序：抗がん剤／EZH2阻害剤					導入品（Epizyme, Inc.）
[概要] ヒストンメチル基転移酵素を構成するタンパク質の一つであるEZH2は、エピジェネティック関連酵素として、発がんプロセスにおいて重要な役割を担っていると考えられています。E7438は、Epizyme, Inc.が独自の創薬プラットフォームから創製した、ファーストインクラスの経口投与可能な低分子化合物であり、EZH2の阻害を介した抗腫瘍効果が期待されています。当社は本剤の日本における開発・商業化権を保有しています。					
B細胞性非ホジキンリンパ腫	206試験		日本	PII	経口剤

○：2019年4月以降の進捗、◎：2019年10月以降の進捗

開発品コード：H3B-6545

薬効／作用機序：抗がん剤／ER α 阻害剤			自社品
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体 α (ER α) 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER α をともに阻害します。エストロゲン受容体陽性／HER2 受容体陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。			
乳がん	101試験	米欧	PI/II 経口剤

開発品コード：E7090

薬効／作用機序：抗がん剤／FGFR1、2、3阻害剤			自社品
[概要] 経口投与可能な線維芽細胞増殖因子 (FGF) 受容体 (FGFR1、FGFR2、FGFR3) 選択的チロシンキナーゼ阻害剤であり、FGFR2融合遺伝子を有する切除不能な胆管がん (胆道がんの一種) を対象にフェーズII 試験を行っています。FGFR2融合遺伝子を有する切除不能な胆道がんに対する治療を対象に、厚生労働省の「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定されています。			
胆管がん	201試験	◎ 日中	PII 経口剤

開発品コード：H3B-6527

			自社品
肝細胞がん	—	米欧	PI 経口剤

開発品コード：H3B-8800

			自社品
血液がん	—	米欧	PI 経口剤

開発品コード：E7386

			共同創出品 (PRISM Pharma)
固形がん	—	日欧	PI 経口剤
固形がん (レンピマとの併用療法)	—	○ 日本	PI 経口剤

開発品コード：MORAb-202

			自社品
固形がん	—	日本	PI 注射剤

開発品コード：E7130

			共同創出品 (ハーバード大学)
固形がん	—	日本	PI 注射剤

開発品コード：E7766

			自社品
固形がん	—	◎ 米国	PI 液剤

(3) 消化器

開発品コード：AJM300 一般名：カロテグラストメチル

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／ α 4インテグリン阻害剤			自社品	
[概要] α 4インテグリンを阻害することにより、リンパ球の接着・浸潤を防ぐ新規作用機序を有します。経口 α 4インテグリン阻害剤として世界ではじめての製品化をめざしています。				
潰瘍性大腸炎	—	日本 PⅢ	EAファーマとキッセイ薬品の共同開発	経口剤

開発品コード：E6007

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／インテグリン活性化阻害剤			自社品	
[概要] インテグリン活性化阻害による白血球全般の接着・浸潤を抑制する新規作用機序を有する化合物です。科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業として、EAファーマが筑波大学と共同で製品化をめざしています。				
潰瘍性大腸炎	201試験	日本 PⅡ	EAファーマが開発	経口剤

開発品コード：E3112

			自社品	
肝臓疾患	—	日本 PⅠ	EAファーマが開発	注射剤

(4) その他

開発品コード：E6011

薬効／作用機序：抗フラクタルカイン抗体			自社品	
[概要] エーザイグループのキャンサー研究所において創製された、世界初のヒト化抗フラクタルカインモノクローナル抗体です。関節リウマチや炎症性腸疾患をはじめとする炎症性疾患の血管内皮細胞に発現し、炎症反応を惹起するフラクタルカインを中和することによる抗炎症作用を期待しています。				
関節リウマチ	201/202試験	日本 PⅡ		注射剤
クローン病	ET2試験	日欧 PⅡ	EAファーマが開発	注射剤

開発品コード：E6742

			自社品	
自己免疫疾患	—	米国 PⅠ		経口剤